

第1272回 高知市教育委員会11月定例会 議事録

1 開催日 令和4年11月22日（火）

2 教育長開会宣言

3 議事

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 市教委第39号 高知市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
について（継続審議）

4 出席者

(1) 教育委員会

1 番教育長

松 下 整

2 番委員

谷 智 子

3 番委員

西 森 やよい

4 番委員

野 並 誠 二

5 番委員

森 田 美 佐

(2) 事務局

教育次長

山 中 浩 介

教育次長

岩 原 圭 祐

教育政策課長

岸 田 正 法

学校教育課長

竹 内 清 貴

学校教育課教育企画監

市 原 俊 和

学校環境整備課長

高 橋 直 人

教育研究所長

西 田 尚 弘

教育政策課長補佐

島 崎 由 紀 子

教育研究所副所長

吉 本 恭 子

教育研究所班長

刈 谷 美 和

教育政策課主幹

神 岡 純 子

教育政策課主任

松 本 理

1 令和4年11月22日（火） 午後3時～午後3時20分（たかじょう庁舎5階北会議室）

2 議事内容

開会 午後3時

松下教育長

ただいまから、第1272回高知市教育委員会11月定例会を開会いたします。

日程第1，会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、野並委員，お願いいたします。

野並委員

はい。

松下教育長

それでは、議案審査に移ります。

日程第2 市教委第39号「高知市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」を議題とします。この件は、前回11月14日の臨時会から継続審議となっています。

前回の臨時会において委員の皆様からいただいた御意見を受け修正した箇所につきまして、御説明させていただきます。

それでは「対象事務1 GIGAスクール構想推進事業」について事務局から説明をお願いします。

学校教育課教育企画監

修正箇所等につきまして、御説明いたします。前回、たくさんの御意見をいただきまして、どうもありがとうございました。至らないところもたくさんありまして、申し訳ありませんでした。

3ページからになりますけれども、細かい文言の修正，アンダーラインが引かれた文言につきまして，加筆修正があったものになります。大きいところでいいますと，6ページの提言③についての部分で御意見をいただいております。その前に，提言②に対する取組の2段落目にあたりましても，「依然として印刷機等の学校事務機器が伝達手段の主流という学校がは少なくない。」となっております，ここは後で修正をいたします。失礼いたしました。

提言③につきまして，御意見いただきまして，西森委員さんから文房具ということをおっしゃっていただき，そういったことを加味しまして，4段落目にありますけれども，「GIGAスクール構想の実現は，この「探求的な学習」における課題解決の一つのツールとして，児童生徒がICTを文房具のようにいつでも自由に主体的に用いることが，今後，情報化社会の形成に参画するための資質・能力を育むことにつながる。このことは，GIGAスクール構想により授業において「教員が活用する教具」ではなく，「児童生徒が活用する文房具」としてのICTに変革していくべきことを意味する。GIGAの由来である「Global and Innovation Gateway for All」が「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく，公正に個別最適化され，資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する」という理念であることを念頭に置き，研修等の機会があるたびに，これら基本的な考え方が共通に理解されるよう図っていきたい。」と修正をいたしました。

以上でございます。

松下教育長

6ページの提言②の「学校がは少なくない」というのは，どう変更しますか。

学校教育課長

「学校は少なくない」に変更いたします。

松下教育長

「が」をのけるんですね。

大きいところは、提言③のところを変更しましたということでした。

この件に関して質疑等をお願いいたします。

西森委員

このGIGAスクール構想が始まって以来、私自身も腑に落ちきっていなかったところが、今回の質疑とこの修正で腑に落ちました。素晴らしい内容にさせていただいて感謝しております。ありがとうございました。

谷委員

すごく分かりやすく書けていると思いますが、「GIGAスクール構想による授業において」とありますよね。「教員が活用する教具ではなく」と言い切ってしまうと、授業の中で教員はICTを教具として使わないのか、子供ばかりに使わせていくというイメージに捉えられてもいけないと思いました。方法としては二つあると思いますが、「授業において「児童生徒が活用する文房具」としてのICTに変革していくべきことを意味する。」というように、そこだけすっきりさせて「教員が活用する教具ではなく」を省くか、どうしてもその「教員が活用する教具」という言葉を入れたい場合は、「教具であるとともに」というような表記にするか、どちらかが考えられると思います。あとはお任せします。その方が、誤解がないのではないかと思います。

松下教育長

ここは今言っていた二つ、または別のところでお任せいただくということで、構いませんでしょうか。

ほかにありましたらお願いします。

森田委員

自分も文章を書くときに出来るだけ短く書こうと心掛けているのですが、7ページの「提言④に対応する取組」の最後の文章で、「られることになるため」という表現が少し多いので、少し減らしてはどうかと思いました。例えば、「位置付けられるようになることで、反映されることになると思われる」というあたりを削減してもいいと思いました。「位置付けられることで～反映されるため」というように、もし文脈の意味が同じであれば、そうするのはどうかと思いました。

松下教育長

そうしましたらここも修正するというので、確認をお願いします。

構いませんでしょうか。

それでは対象事務1を終わらして、「対象事務2 不登校対策」について、事務局から説明をお願いします。

教育研究所長

「対象事務2 不登校対策」につきまして、資料11ページからとなっております。11月の臨時教育委員会において、委員の皆様方から御意見をいただいた後、修正や追記を行ったところといたしましては、資料の15ページとなっております。資料15ページを御覧ください。「提言③に対する取組」について3箇所、修正や追記をいたしました。

まず1点目は、3段落目の教育機会確保法で示されている不登校の児童生徒の定義を追記してはどうかという御意見をいただきましたので、注釈としまして取組の最後に、同法第2条の第3号、不登校児童生徒の定義を追記いたしました。

2点目はその下の4段落目、「夏休み」と表記していた文言を「夏季休業中」に修正いたしました。

最後3点目になりますが、同じく4段落目の「多様な学びの場の在り方について模索しているところである。」という表現で説明が終わっていましたが、取組として「模索しているところ」では弱いのではないかと御意見をいただきましたので、「他県の取組の情報収集とあわせて、県内のフリースクールとの連携を強化し、不登校児童生徒の居場所の拡充を図る」との表現を追記いたしました。

説明につきましては以上でございます。

松下教育長

御意見等ございましたらお願いします。

西森委員

申し上げた定義を入れていただいております。「文部科学大臣が定める状況にあると認められるものをいう。」ここにもう1個入れるかどうかと思っております。省令2号の中で、文部科学大臣がもう少し具体的にいろいろ列挙されていたと思います。全部が頭に入っている人なら、「文部科学大臣が定める状況にあると認められるものをいう。」と言って、これを言える人がいるか聞いたときに頭に入っている人もいますと思っておりますが、そうでない人もいますと思うので、この機会に書いておいた方がいいのではないかと思います。

教育研究所長

承知しました。

松下教育長

これは入れるということで構いませんか。

教育研究所長

はい。

松下教育長

他にありますか。構いませんか。

西森委員

今申し上げたこの定義ですが、読む人は全部読むと思うので配置はどこでもいいかと思いつつ、対象事務2の始めの方にはできないかという気もしています。不登校対策という言葉があったときに、定義はどういうものなのかと考えます。11ページの冒頭の「高知市の不登校児童生徒の出現率は」と1行目に出てきています。率直に言って、今までこういった定義なしだと、漠然と学校に来ることができていない児童生徒さんと思っておりましたが、やっぱりそこにいろんな心理的な負担というか、その子ではどうしようもないことをいろいろ抱えているんだというような意味合いで、1ページ目にこの不登校児童生徒の定義を持つてくることはできないかという気もしております。また御検討ください。

教育研究所長

承知しました。

松下教育長

これについてはまた検討ということで、お願いします。

野並委員

11ページの下の方で、「支援ゼロ」の後の括弧は、1番下の「の児童生徒」の前の括弧へつながると思いますが、その間のスクールソーシャルワーカーの説明のところにも括弧があります。この括弧は区別する必要はないのでしょうか。少し読みづらい部分があつて、大括弧と小括弧で分けないのでしょうか。

教育研究所長

記載の仕方については確認した上で、読みやすく、心掛けたいと思います。

松下教育長

同じ括弧になっているので、これは直してください。

教育研究所長

はい。

西森委員

条例の文章、条文とかは全部これなんですよ。括弧の中に括弧があってさらに括弧があって、同じ形でずっとあって、読めないです。

森田委員

見たらもちろん分かると思うんですけど、12ページの児童生徒数の図表を書くときに、単位をどこかに記入をしてはどうでしょうか。

谷委員

そうですね。

松下教育長

縦軸に入れたらいいですね。

森田委員

11ページには%がちゃんとあるので。

松下教育長

記入してください。

教育研究所長

はい。記入するようにします。

松下教育長

構いませんでしょうか。

それでは、「対象事務3 学力向上対策」について、事務局から説明をお願いします。

学校教育課長

結果報告書の案のうちの24ページを御覧ください。前回の会議の中で、C B Tについての注釈をということで、こちらの方に入れております。「Computer Based Testing」の略であり、従来行われてきた筆記型調査（Paper Based Testing, P B T）を、コンピュータを使用して行うものをいう。」ということでC B Tを定義しております。

それから25ページになりますが、御指摘いただきました家庭環境の厳しい子供たちというところを含めて、不登校などのいろいろな背景が出てくるかと思えます。そういった状況も全て含んだ上で「多様化する子どもたちの様々な背景を捉えた上で」という文言を追記しております。

それから、35ページになりますが、こちらも御指摘いただいたキー・コンピテンシーの注釈を入れております。「キー・コンピテンシー」とは、言語や知識を活用する能力や多様な集団の中で人間関係を形成する能力、自律的に行動する能力等、急速に変化する社会の中で必要とされる資質・能力のことをいう。」ということで入れさせていただいております。

変更点については以上でございます。

松下教育長

注釈、それからもう一つ文章のところがありました。御質問、御意見がありましたらお願いします。

西森委員

24ページと35ページの定義の入れ方のところで、C B Tは鍵括弧を付けずに、キー・コンピテンシーは鍵括弧が付いています。揃っていないので、どちらかに統一した方がいいと思いました。

学校教育課長

失礼いたしました。

松下教育長

この冊子自体で番号があった方がいいですか。それともこの学力向上だったら学力向上の中で1番、2番とした方がいいのか。今学校教育課がやっているのは、両方とも1番ですよ。どうなんですか。

森田委員

見やすいのは、そのページの中でその都度だと思います。どちらが悪いとかは全然ないです。

松下教育長

G I G Aのときにも注釈があって、G I G Aが1番でこれが2番だとずっと飛んで2番になってしまうわけです。だから、どんなものだろうと思ひまして。

森田委員

読んでいて、何だろうと思ってそのページにある方がいいと思います。

松下教育長

そうですね。このページの中で1番なら1番で、このページの中でもう一つあるなら2番にするということで良さそうですか。

森田委員

はい。そこで問題はないと思います。

松下教育長

そうしましたら、括弧は統一をお願いします。

西森委員

※に1はあった方がいいですか。各ページ※1までしかないですよ。15ページのところですが、※に1があった方が形が綺麗ですか。

森田委員

※がそこしかなければ。

西森委員

1がなくても構わない気がします。違和感はなかったですが。

谷委員

※がいくつかあれば、番号があってもいいのかもしれないですが、1個なら※だけでもいいと思います。

松下教育長

そうしましたら、ここは確認し、任せていただくということで構いませんでしょうか。

委員一同

————— 【はい】 —————

松下教育長

ほかにありましたらお願いします。

西森委員

これが確定した後、報告書としてあがると思いますが、これについて何か、市民からの御意見がきたことはありますか。

教育政策課長

ホームページに掲載しておりますが、特に御意見をいただいたことはないと思ひます。

岩原教育次長

議会で諮って、市民の方の御意見をいただいたということになっているかと思ひます。

西森委員

議会での例年の反響はどんな感じでしょうか。そういう形でフォローしてきたことがなかったんですが、これについて御意見が出ることとかありますか。

岩原教育次長

あります。最終的に教育委員会の方で決定が出されますが。

西森委員

分かりました。

谷委員

12月と書いてありますけど、いつ頃刷り上がりますか。

松下教育長

修正箇所を直した上で確定になり、印刷に入れるということですね。

教育政策課長

はい。議会への報告につきましては、まだ議会によって確定しておりませんが、恐らくは12月中旬・下旬といったところでの報告になります。それに間に合わせる形で用意します。

谷委員

はい。

松下教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御意見もないようですので、この件の質疑を終了し、採決に移ります。市教委第39号「高知市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」は、原案を基本的に了とし、本日の会での御意見も踏まえ、修正点や字句の整理等については私と事務局で協議し、報告書としてとりまとめたと思いますが、よろしいでしょうか。

委員一同

————— 【異 議 な し】 —————

松下教育長

それでは、市教委第39号について、報告書の最終のとりまとめは私が行わせていただくことにいたしますので、よろしくお願いいたします。

以上で、本日の議事日程はすべて終了いたしました。これで教育委員会を閉会いたします。

閉会 午後3時20分

署 名

教育長 _____

4番委員 _____